

編集後記

学術論文を読むことや学会発表を聴くことはエンターテインメントです。著者・演者は多大な苦勞と時間を費やして魅力的なコンテンツを可能な限り詰め込んだ作品で聴衆に迫ります。それは、あたかも映画やミュージカルが人の心を掴み、揺さぶり、魅了するかのごとくです。黙って座っていれば、次々に診療における感動や研究成果の美しさに触れることができる学術集会は贅沢な時間であり、臨床医の醍醐味でもあります。

しかし、昨今の新型コロナウイルス感染症拡大によって多くの学術集会、研究会は中止が相次ぎ、発表や講演を聴取する機会は激減しました。Web開催、オンデマンド配信などの新しい開催様式が誕生してきていますが、従来の学術集会と比較すると十分な味わいのある時間として感じられない先生方も多いのではないのでしょうか。

医学雑誌は学術集会とは異なるメディアですが、講演や発表にはない緊張感と創造性を感じる作品に出会うことがあるでしょう。日本小児循環器学会は、和文誌と英文誌を発刊しておりますが、いずれにも大変な労力を注入して作り上げられたエンターテインメントが盛り込まれており、私たちの臨床にすぐに応用できる内容ばかりで頭脳の活性化に携ります。

今後、日本小児循環器学会が世界に向けて有意義な情報発信をすすめていくことに学会雑誌が大いに利用され、発展していくことを祈念します。

(早瀬康信)